



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバンテス

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.com/JP/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3214-7500

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	59,638	△17.8	△7,994	—	△7,387	—	△9,339	—
25年3月期第2四半期	72,558	12.6	3,369	—	3,117	—	1,519	—

(注) 四半期包括利益 26年3月期第2四半期 △3,545百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △4,492百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△53.65	△53.65
25年3月期第2四半期	8.76	8.75

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	221,966	136,885	136,885	61.7
25年3月期	225,515	141,241	141,241	62.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	7.6	0	—	500	—	△2,500	—	△14.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記情報)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記情報)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	199,566,770 株	25年3月期	199,566,770 株	
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	25,372,046 株	25年3月期	25,773,688 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	174,072,271 株	25年3月期2Q	173,304,731 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11

〈添付資料〉

2013 年度第 2 四半期 決算（連結）の概要	P. 13
--------------------------	-------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年9月30日)の状況 (単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結累計期間	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	715	609	△14.8%
売上高	726	596	△17.8%
営業利益	34	△80	—
税引前四半期純利益	31	△74	—
四半期純利益	15	△93	—

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、日本では景気回復が続き、米国でも底堅い民需に支えられ緩やかな回復が続きました。一方で、欧州経済は低迷状態が継続したほか、近年世界経済を牽引してきた中国などの新興国諸国でも成長率の低下が見られるなど、減速感が一段と進みました。

半導体関連市場においては、2012年後半以降、パソコン需要の減退に加え、ここ数年市場の牽引役を担っていたハイエンド・スマートフォンの販売がこれまでの勢いを欠いていることで、2013年の半導体市場の成長率は対前年比で小幅なものにとどまると予測されています。最終製品の需要減速に伴う在庫過剰への懸念から、半導体メーカーは増産投資に対する慎重さを強め、結果、期初に予測されていた水準より設備投資は下振れて推移しました。

このような環境変化により、主として非メモリ半導体用テストシステムの需要が伸び悩むなか、当社は、設備投資が回復しはじめたメモリ半導体向けで収益の獲得に努めましたが、市場の落ち込みを補うまでには至りませんでした。

以上の結果、受注高 609 億円 (前年同期比 14.8%減)、売上高 596 億円 (同 17.8%減)、営業損失 80 億円、税引前四半期純損失 74 億円、四半期純損失 93 億円となりました。海外売上比率は 90.5% (前年同期 91.1%) です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結累計期間	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	557	393	△29.5%
売上高	564	413	△26.8%
営業利益	90	△38	—

当部門では、DRAM半導体関連で設備投資の調整局面からの回復が見られ、メモリ半導体用テストシステムの需要が伸びました。しかし、パソコンやスマートフォン市場の先行き不透明感から先端半導体の設備投資が軟化したことで、非メモリ半導体用テストシステムの需要が前年同期比で大きく減少しました。

以上により、当部門の受注高は 393 億円 (前年同期比 29.5%減)、売上高は 413 億円 (同 26.8%減)、営業損失は 38 億円となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結累計期間	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	74	93	26.8%
売上高	82	68	△17.0%
営業利益	△20	△25	—

当部門では、パソコンやスマートフォンといった最終製品市場の先行き不透明感から、テスト・ハンドラやデバイス・インタフェースの需要が弱含みました。

以上により、当部門の受注高は93億円(前年同期比26.8%増)、売上高は68億円(同17.0%減)、営業損失は25億円となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結累計期間	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	93	124	33.9%
売上高	97	116	20.6%
営業利益	3	12	360.9%

当部門では、ここ数年の当社製テストシステムの設置台数の伸びに下支えされ、顧客からの保守需要が増加しました。

以上により、当部門の受注高は124億円(前年同期比33.9%増)、売上高は116億円(同20.6%増)、営業利益は12億円(同360.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前年度末比35億円減少し、2,220億円となりました。この主な要因は、売上債権が65億円減少し、のれんが28億円増加したことなどによります。負債合計は主に買掛金が19億円増加したことなどにより、前年度末比8億円増加し、851億円となりました。また、株主資本は1,369億円となり、株主資本比率は前年度末比0.9ポイント減少し、61.7%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より1億円増加し、458億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失(△93億円)を計上しましたが、売上債権の減少(71億円)および買掛金の増加(15億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、34億円の収入(前年同期は、24億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、40億円の支出(前年同期は、61億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の購入(△35億円)および子会社買収による支出(△12億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億円の支出(前年同期は、15億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△17億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の市場環境につきましては、DRAM半導体の生産能力増強、新興国諸国におけるローエンド・スマートフォンの普及、新型ゲーム機の販売開始、ハイエンド・スマートフォン用半導体の在庫調整完了に伴う生産量回復など、好転要素の到来が期待されています。これらの動きにより、2014 年から半導体生産は本格回復傾向に向かい、その影響下、半導体試験装置の需要も持ち直すものと見込んでいます。

また経費節減の努力に加えて、前年度より進めている、半導体試験装置周辺市場からの収益増加策、半導体試験装置以外の新規事業育成といった、業績の安定化とさらなる成長に向けた取り組みも徐々に収益に貢献してくるものと見込んでいます。

通期の連結業績予想につきましては、2013 年 9 月 25 日に修正発表した、売上高 1,430 億円、営業利益 0 億円、当期純損失 25 億円から変更ありません。予想の前提とした為替レートは、米ドルが 1 ドル 98 円、ユーロが 1 ユーロ 129 円です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 2 四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更

2012 年 7 月に、米国財務会計基準審議会は、非償却性無形資産の減損テストに関する基準を改訂しました。当該基準では、企業が実施する非償却性無形資産の減損テストにおいて、非償却性無形資産の公正価値を算定する前に、定性的要因を評価することが認められ、企業は非償却性無形資産の公正価値が帳簿価額を下回るという確率が 50%超であると判断した場合を除き、非償却性無形資産の公正価値を算定する必要はありません。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテスト）は、2013 年 4 月 1 日に開始する第 1 四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

2013 年 2 月に、米国財務会計基準審議会は、その他の包括利益累計額からの組替調整額の表示に対する修正の基準を改訂しました。当該基準では、その他の包括利益累計額からの組替調整額をその構成要素ごとに開示することを要求しております。アドバンテストは、2013 年 4 月 1 日に開始する第 1 四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
現金および現金同等物	45,668	45,772
売上債権（貸倒引当金控除後）	26,953	20,409
棚卸資産	31,849	33,082
その他の流動資産	8,319	7,811
流動資産合計	112,789	107,074
投資有価証券	5,923	5,282
有形固定資産（純額）	41,368	41,673
無形資産（純額）	15,833	15,563
のれん	41,670	44,519
その他の資産	7,932	7,855
資産合計	225,515	221,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
負債の部		
買掛金	10,380	12,306
未払費用	7,910	8,001
未払法人税等	1,436	1,221
製品保証引当金	1,889	1,892
前受金	3,198	3,032
その他の流動負債	3,087	2,471
流動負債合計	27,900	28,923
社債	25,000	25,000
未払退職および年金費用	26,785	27,437
その他の固定負債	4,589	3,721
負債合計	84,274	85,081
契約債務および偶発債務		
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	42,801	43,062
利益剰余金	170,626	158,693
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 6,929	△ 1,135
自己株式	△ 97,620	△ 96,098
資本合計	141,241	136,885
負債および資本合計	225,515	221,966

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
売上高	72,558	59,638
売上原価	34,498	30,793
売上総利益	38,060	28,845
研究開発費	16,674	17,408
販売費および一般管理費	18,017	19,431
営業利益 (△損失)	3,369	△ 7,994
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	91	100
支払利息	△ 60	△ 70
投資有価証券売却益	—	576
その他	△ 283	1
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 252	607
税引前四半期純利益 (△損失)	3,117	△ 7,387
法人税等	1,628	1,954
持分法投資利益	30	2
四半期純利益 (△損失)	1,519	△ 9,339

(単位：円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	8.76	△ 53.65
希薄化後	8.75	△ 53.65

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2012年7月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)
売上高	39,203	29,548
売上原価	18,701	15,995
売上総利益	20,502	13,553
研究開発費	8,620	8,688
販売費および一般管理費	9,269	9,543
営業利益 (△損失)	2,613	△ 4,678
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	23	24
支払利息	△ 30	△ 36
投資有価証券売却益	—	84
その他	△ 744	64
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 751	136
税引前四半期純利益 (△損失)	1,862	△ 4,542
法人税等	775	1,156
持分法投資利益	9	—
四半期純利益 (△損失)	1,096	△ 5,698

(単位：円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2012年7月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	6.32	△ 32.71
希薄化後	6.32	△ 32.71

(3) 四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
四半期純利益 (△損失)	1,519	△ 9,339
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 5,856	5,719
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 813	76
控除 純実現損益の再分類調整	251	△ 372
純未実現損益	△ 562	△ 296
年金債務調整	407	371
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 6,011	5,794
四半期包括利益 (△損失)	△ 4,492	△ 3,545

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2012年7月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)
四半期純利益 (△損失)	1,096	△ 5,698
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 1,620	△ 247
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 222	△ 426
控除 純実現損益の再分類調整	251	△ 54
純未実現損益	29	△ 480
年金債務調整	123	252
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 1,468	△ 475
四半期包括利益 (△損失)	△ 372	△ 6,173

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	1,519	△ 9,339
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	3,838	4,573
繰延法人税等	△ 322	203
ストック・オプションによる報酬費用	291	438
売上債権の増減(△増加)	△ 1,965	7,129
棚卸資産の増減(△増加)	△ 1,784	△ 697
買掛金の増減(△減少)	250	1,542
未払費用の増減(△減少)	△ 1,875	△ 23
未払法人税等の増減(△減少)	1,166	△ 265
製品保証引当金の増減(△減少)	△ 17	△ 18
前受金の増減(△減少)	422	△ 285
未払退職および年金費用の増減(△減少)	578	839
その他	295	△ 717
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	2,396	3,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能有価証券の売却による収入	—	943
子会社買収額(取得現金控除後)	—	△ 1,168
有形固定資産の売却による収入	23	248
有形固定資産の購入額	△ 5,878	△ 3,521
無形資産の購入額	△ 244	△ 465
その他	22	7
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 6,077	△ 3,956
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増加(△減少)	△ 25,000	—
社債発行による調達	25,000	—
配当金の支払額	△ 1,728	△ 1,734
その他	208	503
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,520	△ 1,231
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 2,017	1,911
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△ 7,218	104
現金および現金同等物の期首残高	58,218	45,668
現金および現金同等物の四半期末残高	51,000	45,772

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

単位：百万円

前第2四半期連結累計期間

(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	55,276	7,631	9,651	-	72,558
セグメント間の内部売上高	1,162	543	-	△ 1,705	-
売上高	56,438	8,174	9,651	△ 1,705	72,558
調整前営業利益 (△損失)	9,010	△ 1,956	254	△ 3,648	3,660
(調整) ストック・オプション費用					291
営業利益 (△損失)					3,369

単位：百万円

当第2四半期連結累計期間

(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	41,213	6,787	11,638	-	59,638
セグメント間の内部売上高	91	-	-	△ 91	-
売上高	41,304	6,787	11,638	△ 91	59,638
調整前営業利益 (△損失)	△ 3,785	△ 2,488	1,172	△ 2,455	△ 7,556
(調整) ストック・オプション費用					438
営業利益 (△損失)					△ 7,994

単位：百万円

前第2四半期連結会計期間

(自 2012年7月1日 至 2012年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	29,755	4,392	5,056	-	39,203
セグメント間の内部売上高	801	437	-	△ 1,238	-
売上高	30,556	4,829	5,056	△ 1,238	39,203
調整前営業利益 (△損失)	5,665	△ 809	228	△ 2,180	2,904
(調整) ストック・オプション費用					291
営業利益 (△損失)					2,613

単位：百万円

当第2四半期連結会計期間

(自 2013年7月1日 至 2013年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	20,274	3,265	6,009	-	29,548
セグメント間の内部売上高	16	-	-	△ 16	-
売上高	20,290	3,265	6,009	△ 16	29,548
調整前営業利益 (△損失)	△ 2,525	△ 1,123	791	△ 1,383	△ 4,240
(調整) ストック・オプション費用					438
営業利益 (△損失)					△ 4,678

(注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2013年度第2四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2012年度 実績	2013年度実績					2013年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,257	395	214	Δ45.8%	609	Δ14.8%	1,485	18.1%
受注残	164	258	177	Δ31.5%	177	Δ21.5%	219	33.4%

2. 損益

(単位:億円)

	2012年度 実績	2013年度実績					2013年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,329	301	295	Δ1.8%	596	Δ17.8%	(1,430) 1,430	7.6%
売上原価	640	148	160	8.1%	308	Δ10.7%	-	-
研究開発費	331	87	87	Δ0.4%	174	4.4%	-	-
販売費および一般管理費	357	99	95	Δ3.5%	194	7.8%	-	-
営業利益 (売上高比率)	1 (0.1%)	Δ33 (Δ11.0%)	Δ47 (Δ15.8%)	-	Δ80 (Δ13.4%)	-	(0) 0	-
営業外損益	Δ14	5	1	Δ71.1%	6	-	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	Δ13 (Δ1.0%)	Δ28 (Δ9.5%)	Δ46 (Δ15.4%)	-	Δ74 (Δ12.4%)	-	(5) 5	-
法人税等	25	8	11	45.3%	19	22.1%	-	-
当期純利益 (売上高比率)	Δ38 (Δ2.9%)	Δ36 (Δ12.1%)	Δ57 (Δ19.3%)	-	Δ93 (Δ15.7%)	-	(Δ25) Δ25	-

(注)2013年度業績予想欄の上段は、2013年9月25日に修正発表した予想ですが、現時点の予想も変更ありません。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2012年度 実績	2013年度実績		
		4Q末	1Q末	2Q末
総資産	2,255	2,306	2,220	Δ3.7%
株主資本	1,412	1,426	1,369	Δ4.0%
株主資本比率	62.6%	61.8%	61.7%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2012年度			2013年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	10.00	10.00	20.00